

報道関係者各位  
【プレスリリース】

2011年7月6日  
株式会社角川マガジズ

「伝える使命」とは何か？ 命がけで現場を歩いた記者たちの真実のドキュメント  
『6枚の壁新聞 石巻<sup>ひび</sup>日日新聞・東日本大震災後7日間の記録』発売！  
壁新聞の実物が、東京国際ブックフェアと書店に展示されます！

株式会社角川マガジズ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:太田修)は、角川 SSC 新書『6枚の壁新聞 石巻日日新聞・東日本大震災後7日間の記録』を7月9日に緊急出版いたします。

2011年3月11日、東北地方を襲った大津波により、宮城県石巻市・東松島市・女川町をエリアとする地域紙・石巻日日新聞社では、印刷設備が一部浸水し、インフラの破壊により輪転機が動かせない状況にありました。そして、創刊99年の新聞発行が危機に立たされる中、「電気がなくても、紙とペンはある」と、手書きの壁新聞を発行することを決意します。

本書は、家族・親族の安否もわからない中、生死を賭けながら最前線で取材を繰り返して、手書きの壁新聞作りに奔走した記者たちの“震災後7日間の記録”をまとめたものです。避難所などに貼り出された壁新聞は、地域住民の貴重な情報源となり、人々を励まし続けました。宮城県石巻の地域紙だからこそ伝えることができた被災地の真実、事実、そして現実。「伝える使命」とは何か。人の心に届く報道とは何なのか。本書では、6日分すべての壁新聞をカラー写真で掲載。手書きの壁新聞が生まれた背景と「伝える使命」をまっとうした記者たちの葛藤を追ったドキュメントです。

**6枚の壁新聞**  
石巻日日新聞・東日本大震災後7日間の記録  
石巻日日新聞社編

【発売】2011年7月9日(土)  
【定価】980円(税込)  
【発行】株式会社角川マガジズ  
【発売】株式会社角川グループパブリッシング  
ISBN 978-4-04-731553-2



**石巻日日新聞社(いしのまきひびしんぶんしゃ)**

石巻日日新聞は、1912年(大正元年)創刊の夕刊紙。宮城県東部の石巻市、東松島市、牡鹿郡女川町をエリアとして発行している地域紙で、部数は約1万4000部(大震災前の数字)。ほかに、月刊『いしのまきらいふ』を発刊している。社長は近江弘一。従業員は28名。

石巻日日新聞サイト:<http://hibishinbun.com/>

**壁新聞の実物が、東京国際ブックフェアと書店に展示されます！**

手書きで発行された石巻日日新聞の6枚の壁新聞を、同社からお借りして  
下記各所にてそれぞれ展示します。

展示する壁新聞	展示場所	期間
3/12 付	丸善丸の内本店 3F	7/8(金)～8/28(日)
3/13 付	ジュンク堂書店仙台ロフト店	7/9(土)～8/28(日)
3/14 付	紀伊國屋書店梅田本店	7/9(土)～7/31(日)
3/15 付	丸善名古屋栄店	7/9(土)～8/20(土)
3/16 付	東京国際ブックフェア 日本雑誌協会ブース	7/7(木)～7/10(日)会期中
3/16 付	ジュンク堂書店三宮店	7/13(水)～8/28(日)
3/17 付	紀伊國屋書店福岡本店	7/9(土)～8/28(日)

**会社概要**

会社名：株式会社角川マガジズ  
代表者：代表取締役社長 太田 修  
所在地：東京都千代田区富士見 1-3-11  
事業所：東京(本社)、神奈川、東海、関西、九州、北海道  
設立：2007年1月4日  
資本金：1億円  
URL：<http://www.kadokawa-mg.co.jp>

**【本リリースに関するお問い合わせ】**

株式会社角川マガジズ 管理部 総務グループ 広報担当：日下(くさか)  
〒102-8077 東京都千代田区富士見 1-3-11  
TEL・03-3238-8422 / FAX・03-3238-8423 / e-mail・PR@kadokawa-mg.co.jp